

結論

「失敗して挫折して病気になって、例えば
本来敷かれたレールの上から
外れても、必ず生きる道はある。」

都立大泉68期生(中学1期生) 宮嶋 直輝

始める前に、みなさんにお願ひがあります。

- これから色々話していきますが、あくまで一個人の意見に過ぎません。
- もし何かあっても責任は取れないので、自己責任で話を聞いてください。
- その上で、僕はみなさんとラフに会話をしにきました。ぜひなんでも聞いてください。立場は対等です。



この場を借りて感謝を申し上げたい。

- 岩崎様をはじめとするいずみ会の皆様
- 学校の先生方、学校関係者の方々
- 目の前で話を聞いている生徒の皆さん
- 家族や友人
- 過去の僕の先生や塾の生徒たち

感謝

僕のような未熟者を一度でも教壇に立たせてくれて、
本当にありがとうございます。

まず、自己紹介



名前:宮嶋 直輝

生年月日:1997年5月13日(24歳)

学歴:都立大泉⇒1年間浪人(武田塾練馬校)⇒明治大学政治経済学部政治学科卒

職業:一般社団法人アイン専務理事(4年目)、武田塾練馬校講師(5年目)

趣味:寝る、散歩、読書、朝ドラ、マンガ、ジュビロ、アニメ、アイドル、お笑いYouTube、温泉、サウナ、カフェ巡り、ゲーム、断捨離、ストレッチ、マッサージ、、、などなど。

性格:怠惰のためなら手段を選ばない怠惰

いつも考えていること:朝起きたくない(今日しんどい)、働きたくない

特性:元うつ病、躁鬱、低気圧に弱い、頭痛持ち、HSP、縛られているとストレスで病む

なぜ、僕がこの場にいるのか？⇒目的3つ

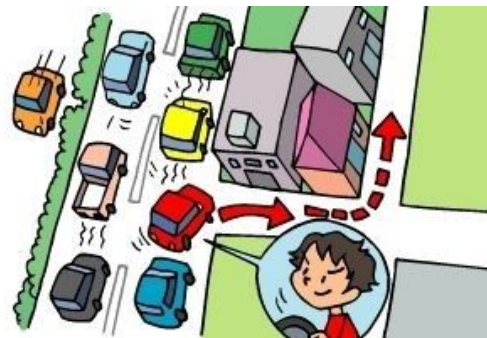
①キホンは**本来敷かれたメインのレールで突っ走ってほしい**と思っている。

普通に卒業して、良い会社に就職して、結婚して、子育てをして、というレール。

②ただ、覚えておいてほしいことが1つだけあって、

「もしレールから外れても生きる道はあるんだよ」ということ。

人生は十人十色、人間万事塞翁が馬だと伝えたい。



③そして、皆さんと近い年齢の僕にしか伝えられないことがある**ぞ**と思っている。

実際に生徒だった頃、講師の人と年齢が離れすぎてあまり刺さらなかった。

このニュース、知っていますか？（目的の話）

東大前3人刺傷逮捕の少年「偏差値73の高校からきた」

1/18(火) 11:57 配信

833



FNNプライムオンライン

大学入学共通テストが行われた東京大学前で受験生ら3人が刺された事件で、逮捕された高校2年の少年が犯行時、「偏差値73の高校から来た」と騒いでいたことがわかった。

愛知・名古屋市の高校2年の少年(17)は、共通テスト初日に会場の東京大学前で、受験生ら人を刺し、現行犯逮捕された。

少年は犯行時、「僕は来年東大を受けるんです」と叫んでいたが、新たに「偏差値73の高校から来た。実力はある」と騒いでいたことがわかった。

少年は調べに対し、「1年くらい前から成績が上がらず悩んでいた」と供述しているが、私服から高校の制服に着替えて、目標としていた東京大学で犯行に及んでいて、警視庁がくわしい動機を調べている。

山形県の進学校⇒1浪⇒明治政経卒 テレビ朝日の田中萌アナウンサー



「周りの大人から見れば“東大以外の大学を受ければいいじゃん”と思うかもしれないが、そういうことを考えられないくらいに追い詰められているケースもあると思う。あるいは“まだ17歳なのに、なぜ絶望したのか”という意見もあるかもしれないが、**17歳だからこそ絶望することもある**と感じる」

「私も“進学校”と呼ばれる高校に通っていたが、“**東大、東北大、国公立大の医学部に行かないのはうちの生徒じゃない**”みたいな環境で、普段会話する大人も先生くらいとい**狭い世界**だった。だから先輩方が行ったルート以外は成功じゃないと思っていたし、そこから外れそうになった時の恐怖は非常に大きかった。実際1浪して私立大学に入った時の私の絶望感、“**私の人生終わったな**”という感じには結構すさまじいものがあった。私くらいの年齢になれば、何かがあったとしても、“こうやって解決していけばいいな”というのが分かるようになる。でも10代の頃はそうではなかったと思う。**当時はその先にはいろんな選択肢があって、職業があって、生き方があって、ということが分からなかった**」と声を震わせた。

都立大泉⇒1浪⇒明治政経の僕が考えたこと

僕も田中萌アナウンサーと同じよう「ああ、俺の人生終わったな」と思った。

「国公立、一橋大学に行けない奴は、人として終わっている」と本気で思っていた。

僕自身も、一橋大学の門の前で人を刺していたかもしれない。強く強く同情した。

この事件は、現在の学校教育、日本社会が抱えている問題によって引き起こされたと思う。

「今の学生たちが、同じようになってしまう可能性を、1人でも減らしたい。」



結論

「失敗して挫折して病気になって、例えば
本来敷かれたレールの上から
外れても、必ず生きる道はある。」

都立大泉68期生(中学1期生) 宮嶋 直輝

「人生は終わってないよ」と一声かけてあげたい。

これまでの経歴を話します。その1

大泉第三小を卒業して、1期生として大泉に入学しました。
中学に入ってからほとんど勉強もせず、
当時ネットビジネスにハマって小銭を稼いでいました。笑

中学3年の時に、「**このままだと高校上がれないよ？**」と当時の担任に脅されて、
「え、エスカレーターじゃなかったの？」と反抗しつつ、本気で勉強を始めました。
(定期考査や模試の順位は、常に下から数えたほうが早かったのを覚えています。)

高校入ってから、文武両道を体現できるように頑張りすぎた結果、反動がいま来ています。笑

部活は中高サッカー部に所属し、高2の時にスタメンGKで都大会に出場しました。
(いまも校舎1階のところに写真飾ってあったら嬉しい、ぜひ見てみてください笑)

ですが、受験は全落ちで、高校を卒業後、1年間の浪人期間に入りました。
第1志望の一橋にしっかりと落とされて、**第4志望の明治大学政治経済学部に進学**しました。



これまでの経歴を話します。その2

大学受験に失敗したと思い込んでいたこと、
新しい環境で働き始めたユニクロがキツすぎたこと
当時の家庭環境などの影響で、
大学2年次の春に中度のうつ病と診断されました。

ここで人生で初めて、
「敷かれたレールの上」から外れる決意をしました。



これまでの経歴を話します。その3

うつ病の療養期間での様々な経験や、
大学2年次の夏に行った宿無し中国一人旅などの経験を経て、
「もっと多くの人々と出会って、自らの価値観を広げたい」と考えるようになりました。



これまでの経歴を話します。その4

SNSを通じて「プロカフェラー」として多くの人々と会って話すという活動を開始しました。

その結果、約6ヶ月間で150人以上の方々と1対1の「カフェ雑談」を行い、
多くの人々に交流を通じてきっかけを与え、そしてきっかけを与えられてきました。



これまでの経歴を話します。その5

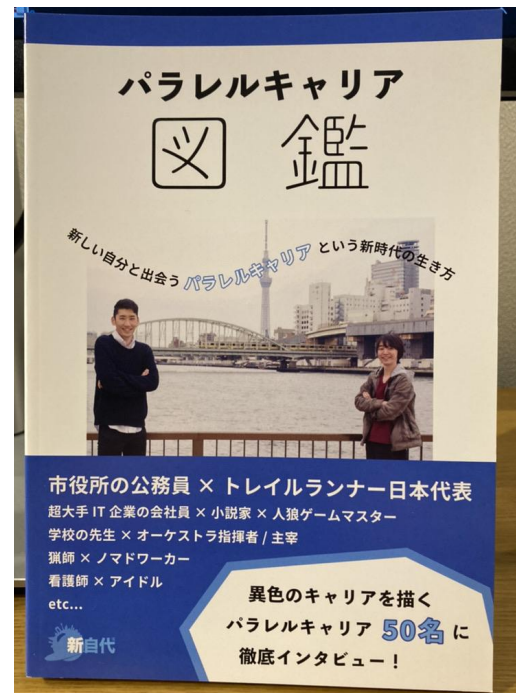
その後、本来の就職コースから大きく外れ、
起業・経営に携わりたい思いが強まり、
大学2年次の秋に会社を設立し、代表になりました。

同時期に、**パラレルキャリア**支援団体の
一般社団法人UP事業部UPFD代表に就任しました。

UPFD代表として、クラウドファンディングで約30万円の資金を調達し、
50人のパラレルキャリアワーカーに対面インタビューを刊行。

その足跡をもとに、『**パラレルキャリア図鑑**』という本を製本化し、
多くの若者に「働き方の選択肢を増やす」きっかけを与えてきました。

1冊寄贈するので、
写真を撮りたい。



これまでの経歴を話します。その6

その後、カフェラー時代の出会いをきっかけに、
一般社団法人アインの専務理事に就任。

現在は、**オンライン起業家・経営者**として、
全国にいる多くの人々に
様々な気づきやきっかけを与えています。

また、塾講師としても5年間の活動経験があり、
ユニクロでも働いた経験があります。

日雇い労働者、バイト、フリーランス、起業家、
経営者など、様々な働き方を経験してきました。



荒屋 明神

Akinobu Araya

一般社団法人アイン代表理事/集客コンサルタント/発達障害評論家/ネットビジネス評論家/作家

荒屋 明神とは？

茨城県産業専門学校卒業。髪を切ることに興味を持ち、美容師としてキャリアをスタート。
3年半後に美容室の店員経営者に。経営を学ぶため、複合商業施設副支配人、また超有名百貨店に転職し、ブ
ランドマネージャーを歴任。

その後、活動を経営や医療の方向へ転換し、年産13億円の医療系財団法人運営秘書に。

「ADHDが活躍できる社会」を創るべく、2018年クラウドファンディングサイトREADYFORにて法人設立資
金調達。

2019年1月一般社団法人アイン設立。

心理学、医学、宗教学など文献から読み合わせた独自の交渉術を駆使し、従来の日本の働き方では生きづら
さを感じる人達へWebライティングやホームページ制作を教えている。

自身は、企業のビジネスアドバイザーや集客コンサルタント、作家として活動中。

多業種の経験から、世間の常識にとらわれない集客アイデアの提案【サードドア集客】を得意とする。



宮嶋 直輝

Naoki Miyajima

一般社団法人アイン 専務理事/エバンジェリスト

宮嶋 直輝とは？

東京都出身・明治大学卒業。大学2年時に人生の転機となる中程度のうつ病を発症し、「プロカフェラー」として
人に向かう活動を開始。約6ヶ月で150人以上とカフェ雑談を行い、多くの人々に交流を通じてきっかけを与え
る。その後、起業・経営に携わりたい思いが強まり、合同会社を設立し、代表になる。同時期に、パレル
キャリア支援団体の一般社団法人UP事業部UPFD代表就任。また、荒屋明神との出会いをきっかけに、一般
社団法人アインの専務理事に就任。現在はエバンジェリスト、Webディレクターとして、アインを支えてい
る。

結論

「失敗して挫折して病気になって、例えば
本来敷かれたレールの上から
外れても、必ず生きる道はある。」

都立大泉68期生(中学1期生) 宮嶋 直輝

今、僕が何をしているか？（仕事・キャリア）

・一般社団法人アイン専務理事

事業内容「オンラインビジネスが苦手な方々に、オンラインでの集客の方法を教えている」

僕の業務内容「全体管理、事業設計」

⇒超簡単に言うと「ルールを作って、設計図を書いて、人に投げる人」



一般社団法人 アイン

・武田塾練馬校の講師(今週違法賭博塾と報道されましたが練馬校は無関係です笑)

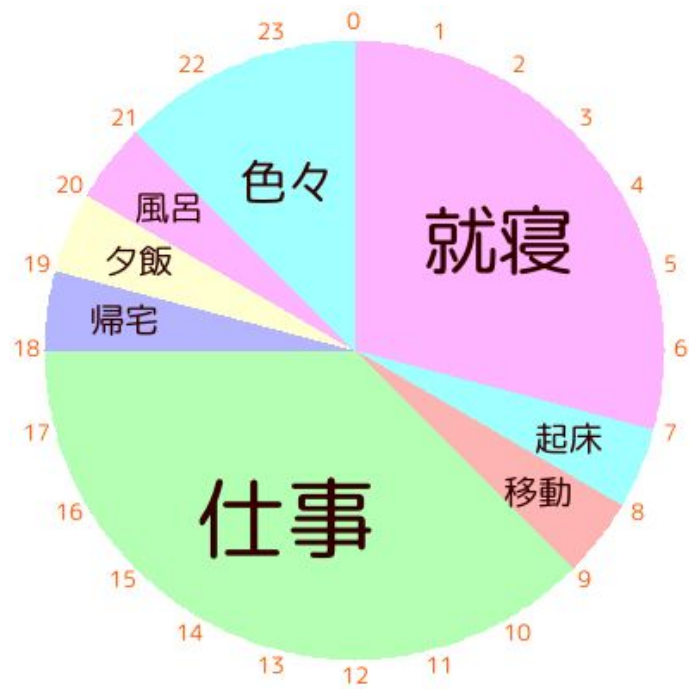
業務内容「高校受験と大学受験の勉強管理、進路設計」

⇒超簡単に言うと「進路設計図に沿って、個人の勉強を管理する人」

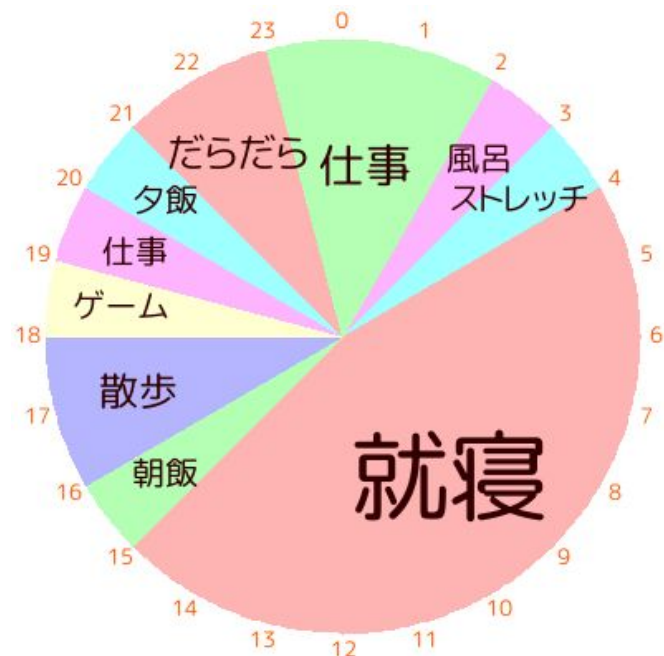
日本初！授業をしない。



今、僕が何をしているか？（生活スタイル）



勤め人



僕

僕の理念

僕の目指す理想の姿：

「自分の意思決定以外で、人・時間・お金・場所に縛られている状況」を避けること。(目的)

⇒そのために、スマホ1台で仕事できるようにする。(手段)

理念：

「やらなくてもいいことならやらない、やらなければいけないことなら手短かに」

アニメ『氷菓』折木奉太郎の省エネ主義

仕事では「やりたいこと」よりも「できること」をやる。
「やりたくはないけど、できること」をたくさんやる。



ここまでのざっくりまとめ

見てきた通り、けっこうテキトーに生きていますが、

ちゃんと自分の頭で考えて、

自分の大切にしたいことだけを考えて、

縁を大切にすれば、意外となんとか生きていけます。笑

(ちなみに、家族との関係については、上手な立ち回りを覚えたら、だいぶラクになりました。それぞれの環境や状況があると思うので、あくまで1つの参考例として考えて下さい。もちろん、1人ではどうしようもないようなことは、誰かの力を借りるのも1つの手です。)

結論

「失敗して挫折して病気になって、例え
本来敷かれたレールの上から
外れても、必ず生きる道はある。」

都立大泉68期生(中学1期生) 宮嶋 直輝

ここからは質問対応の時間

僕のメインの話は終わりです。何か気になることがあればなんでも聞いてください。

特になければ、選択科目形式で列挙したので、エピソードトークをバーっと話していきます。

13個のエピソードトークから聞きたいものを選んでもらっても構いません。

(時間の許す限り)

ここからは質問対応の時間

- ①本来敷かれたレールだけが人生ではない。(深堀り)
- ②迷惑はかけてもいい。迷惑をかける練習をしよう。
- ③とりあえず、「続けよう」ではなく、「立ってれば OK」と考える。
- ④服にも物にもこだわりがない。プライドは高く付く。
- ⑤幸せは目の前にある。最近、ラーメンにトッピングできるのが幸せ。
- ⑥時間に追われない生活の素晴らしさ。横断歩道は待つし、改札でブチギレることもない。
- ⑦明治大学で出会った恩師と仲間。教授に「ゼミ向いてないよ」と言われた。レール外
- ⑧就業力育成総合講座から学んだこと。経営者をご飯に誘った。
- ⑨中度のうつ病と療養期間での体験談。ドラえもんばっか見てた。
- ⑩「労働者」ではなく「経営者」として生きるという選択肢。何が違うのか？
- ⑪”プロカフェラー”として約6ヶ月間で150人以上の方々と会った話
- ⑫14日間の宿無し中国一人旅のエピソード。「Hotels in Shanghai」と書かされた。
- ⑬『パラレルキャリア図鑑』で出会った 50人のパラレルキャリアワーカーの話